

I 教育の充実
1 学力、体力の向上

(1) 学力の向上 << 施策 1 >>

高校教育課、義務教育課、特別支援教育課、社会教育課

総合計画の内容

< 現状・課題 >

- 文部科学省「全国学力・学習状況調査」(2021(令和3)年度)における本県の標準化得点*は、小学校、中学校ともに全国平均を上回っています。
(※ 標準化得点: 全国の平均正答数を100としたときの本県の平均得点。)
- 自分で課題を見つけ、考え、主体的に判断し、適切に課題を解決する能力を育成するため、学ぶ意欲等を高める指導法や主体的で参画型の授業を推進すること等が求められています。

< 施策の方向 >

- ICTの積極的な活用により、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進します。
- 各学校において学力向上に向けた実効性のある検証改善サイクルを構築するため、年間計画とロードマップを作成し、各学校の学力層に着目した分析により、各学力層を踏まえたきめ細かな学習指導の充実に向けた取組の充実を図ります。
- 子ども一人一人の学習内容の理解度・定着度の向上と学びの高度化を図るため、小学校と中学校の連携・協働による一貫した学習指導等を推進します。
- 地域と学校の連携・協働の下、学習習慣の定着や学ぶ意欲の喚起を図るため、学校支援や放課後等の学習活動に取り組む市町村を支援します。

令和4年度 施策の基本的なねらい

- ◇ 福岡県学力向上推進計画等の下、知識・技能及び思考力・判断力・表現力等の確かな学力の育成を目指します。
- ◇ 県内全小・中学校における学力実態、学習状況及び市町村の学力向上の取組状況を調査するとともに、各学校において、学力層に着目した学力向上に係る効果的な検証改善サイクルの確立を推進します。特に、中学校の学力向上を目的としたカリキュラム・組織マネジメントの質的向上を図ります。
- ◇ 高等学校においては、令和4年度から年次進行で実施される新学習指導要領を踏まえ、生きて働く知識・技能や、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力など、新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実を図ります。
- ◇ 教員研修の実施により授業の工夫改善を図り、主体的・対話的で深い学びの実現を目指します。
- ◇ 地域と学校の連携・協働の下、地域全体で子どもの成長を支える「地域学校協働活動」を進め、放課後の学習支援等を実施することで、学力の向上を目指します。

令和4年度 主な取組・事業

取組・事業名	概要
福岡県学力向上推進計画に基づく 学力向上総合推進事業の実施 ＜重点事業1＞	<p>県、市町村、学校が一体となり、児童生徒の学力向上、教員研修及び家庭学習充実の取組を総合的に展開することによって、確かな学力を育みます。また、県独自の学力調査（小5、中1・2）を実施するとともに、活用力育成教材集の作成や診断テスト（小4）を実施します。</p> <p>中学校においては、学力向上推進拠点校の授業づくりと組織づくりの実践研究を通して、日常的・組織的な授業改善を推進します。</p> <p>また、「個別最適な学び」と「協働的な学び」による確かな学力の育成のため、個々の児童生徒の学力を科学的手法で把握・分析するとともに、親和的な集団を形成する学級づくりを推進します。</p>
主体的・対話的で深い学び 推進事業の実施	<p>中学校における思考力・判断力・表現力等を育む授業づくりのため、定期考査等の評価問題の質的改善を通して教員の授業構想力と評価力を高めるための教員研修を実施します。</p> <p>福岡県立学校「新たな学びプロジェクト」において、アクティブ・ラーニングの視点からICTを効果的に活用した授業改善及び評価方法を研究し、県立学校の主体的・対話的で深い学びを推進します。</p>
地域学校協働活動事業における 放課後の学習支援等の実施	<p>放課後の学習支援等の充実を図るため、学校と地域をつなぐ地域学校協働活動推進員の配置を促進し、地域学校協働活動が円滑に実施できるよう支援します。</p>

指 標

指 標	指 標 の 概 要	現 状 値	目 標 値
確かな学力の育成	全国学力・学習状況調査における学力上位層の構成割合が全国平均を上回る地区数（教育事務所別）	小 国語 5 地区 算数 2 地区 中 国語 1 地区 数学 1 地区 (R3 年度)	小 国語 6 地区 算数 6 地区 中 国語 6 地区 数学 6 地区 (R8 年度)
課題解決に向けた 取組	授業の中で自分たちで課題を立て、解決に向け話し合い、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思う児童生徒の割合	小 65.5% (全国 70.9%) 中 67.0% (全国 71.5%) (R3 年度)	全国平均以上 (R8 年度)
家庭での学習習慣の 定着	学校の授業時間以外に、平日の勉強時間が1時間未満の児童生徒の割合	小 40.3% (全国 37.5%) 中 26.6% (全国 24.0%) (R3 年度)	全国平均以下 (R8 年度)
学力向上に関する 検証改善サイクル の確立	教育課程の改善を図るための一連のPDCAサイクルを確立している学校の割合	小 31.4% (全国 31.1%) 中 32.6% (全国 29.8%) (R3 年度)	全国平均以上 (R8 年度)